

〔優秀賞〕

◇ 題名 ありのままの自分で生きるために ◇

城北小学校 6年 中島 優香

私には弟がいます。3才になるとてもかわいい弟です。弟は電車や恐竜などのおもちゃが好きですが、同じくらい人形遊びやままごと遊びも大好きです。人形といっしょにお風呂に入ったり、人形にご飯を作ってあげたり、ままごと遊びで私やお母さんにもよくご飯を作ってくれたりします。

弟が好きな遊びは他にもあります。それは、けしょうです。お母さんや私がけしょうをしていると、弟もそれをまねて、チークやパウダーをつけるふりをしたり、けしょう品をさわって遊んだりしていることがあります。先日私がお風呂上がりにスキンケアをしていると、弟が

「ぼくもやってみたい。」

と言ってきました。そこで、小さな子でも使える低刺激のけしょう水を使わせてみました。すると、とても楽しそうに、私のまねをしてけしょう水を顔にぬり始めました。弟に

「おけしょう好きなの。」

とたずねると、

「おけしょうぬりぬり、好き。」

と、うれしそうに答えました。私が弟くらいの年のときは、けしょうやスキンケアに全く興味はなかったので、こんな小さいうちからスキンケアをするなんて、女子力が高くてすごいなあ、と感心してしまいました。しかし、そこである疑問がわいてきました。女子力って何だろう。けしょうやスキンケアは女子がすることなのか。それなら、男子なのにスキンケアをする弟は間ちがったことをしている

のか。けしょうやスキンケアをしない女子は、女子力が低いと言われてしまうのか、もしくは女子として認めてもらえないのか。何より女子力という表現は正しい言葉なのか、という疑問です。

ある日、私が動画サイトを見ていると、男の子がいわゆる女子向けのアニメのキャラクターのかみ型や服そうをまねていました。自分の好きなキャラクターに変身することを心から楽しんでいるようでした。自分の好きなことを性別にこだわらずに楽しめるっていいな、と思いました。テレビのコマーシャルでは、性別に関係なく使えるけしょう水を、世界で活やくする男性のアスリートがしょうかいしていました。学校では、女子の友達がかみを短くしたり、自分のことをおれと言ったり、お兄ちゃんからもらった服を着たりしています。どれも友達のふん囲気によく合っています。

女子だからこれを着るべき、男子はこういう遊びをするべき、なんてルールにしばられずに自分の選びたいものを選んで楽しく生きていけるようになったら、もっと多くの人たちが人生を楽しめるのではないのでしょうか。私はこれから、女子力ではなく人間力をみがいて、性別にとらわれずにありのままの自分を楽しんでいこうと思います。